

活動予算書（特定非営利活動に係る事業会計）(案)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで12ヶ月)

特定非営利法人にじと風福祉会

科目名	令和2年度 予算金額		令和元年度 予算金額(参考)		備考
I. 経常収益					
1 受取会費					
正会員受取会費	300,000		200,000		正会員会費3000円
賛助会員受取会費	100,000	400,000	100,000	300,000	賛助会員個人3000円、法人10000円
2 受取寄付金					
受取寄付金	0	0	0	0	寄付金個人
3 受取補助金等					
地域療育等委託収入	1,200,000		2,000,000		千葉県、船橋市
行政等委託事業収入	10,000		10,000		児童相談所一時介護委託費等
その他助成金収入	200,000	1,410,000	400,000	2,410,000	リコー、イオン
4 事業収益					
利用料収入(にじと風)	23,000,000		25,000,000		放課後デイ区分2開所日数増
利用料収入(さくら色)	22,000,000		25,000,000		放課後デイ区分1
利用料収入(あかねいろ)	22,000,000		22,000,000		放課後デイ区分2利用者増
利用料収入(花浅葱)	23,000,000		25,000,000		生活介護H26年11月指定利用者増
利用料収入(居宅介護事業にじと風)	5,000,000		9,000,000		重度訪問、行動援護、同行援護等
利用料収入(にじと風相談室)	4,000,000		6,000,000		特定児童計画相談請求分のみ
利用料収入(にじと風地域生活支援事業)	10,000,000		16,000,000		日中、移動利用者増
研修事業収入	0	109,000,000	200,000	128,200,000	福祉塾等主催研修参加費
5 その他収益					
受取利息	1,000		1,000		受取利息
預り金	0		0		住民税、所得税預り分
雑収入	10,000	11,000	10,000	11,000	職員雇用保険預り分は法廷福利費に計上
経常収益計			110,821,000	130,921,000	
II. 経常費用					
1 事業費					
(1) 人件費					
給与手当	70,000,000		80,000,000		職員30名分給与と送迎ボランティア経費、等職員募集
福利厚生費	10,000,000		10,000,000		法廷福利費(健保年金雇用)
人件費計		80,000,000		90,000,000	
(2) その他経費					
行事費	400,000		2,500,000		夏1泊、スキー連休日帰り等
相談事業経費	1,200,000		1,800,000		早稲田アシスト、個人他経費
教材費	300,000		800,000		利用者向け絵本等
給食材料費	2,000,000		2,200,000		給食、おやつ材料費
送迎費	500,000		3,000,000		送迎ガソリン代、タクシー借り上げ代
車両費	2,500,000		2,500,000		車検保険駐車場ガソリン修繕費
水道光熱費	1,700,000		1,700,000		4軒分
賃借料	13,000,000		13,000,000		4軒分
保守契約料	4,500,000		4,500,000		リコー介護給付、経理委託、検便 委託業務の稼働ホームページ開設
事業保険料	550,000		250,000		AIU施設賠償責任保険
交通費	100,000		300,000		研修相談等に伴う
通信運搬費	1,500,000		1,800,000		電話電報会報発送
消耗品費	800,000		1,500,000		pcインク文具社トナリ物処理薬剤等
研修費	200,000		1,000,000		主催研修経費外部研修
修繕費	80,000		100,000		トイレ修理等
備品費(3万未満)	30,000		50,000		防災グッズ等
会費	400,000		450,000		納入会費
租税公課	10,000		10,000		収入印紙等
寄付金	50,000		50,000		各機関団体協賛金等寄付
雑費	500,000		1,000,000		香典お祝儀ゴミ処理費等
助成費	50,000		50,000		助成団体への助成金
予備費	50,000		100,000		ひなクラブクローバース
その他経費計		30,420,000		38,660,000	
事業費計			110,420,000	128,660,000	
2 管理費					
(1) 人件費					
給与手当	180,000		360,000		管理者手当1名分(6事業所分)
預り金支出	0		0		
人件費計		180,000		360,000	
(2) その他経費					
福利厚生費	200,000		100,000		今年度より健診代サンリン慶弔費規定による入れる
管理保険料	0		0		施設火災、設備賠償、5軒分事業保険料に
雑費	0		0		
その他経費計		200,000		100,000	
管理費計			380,000	460,000	
経常費用計			110,800,000	129,120,000	
当期経常増減額			21,000	1,801,000	
税引前当期正味財産増減額			21,000	1,801,000	
法人税、住民税及び事業税	0		0		住民税、所得税預り金支出含む
長期借入金返済額	1,200,000		2,400,000		
長期貸付金額	0		0		
当期正味財産増減額			-1,179,000	-599,000	
前期繰越正味財産額			1,407,385	9,656,863	
次期繰越正味財産額			228,385	9,057,863	8事業所×2ヶ月分の事業運営 費40,000,000必要1事業所 1月2500000×2月は5000000 円

全体	1	新型コロナウイルス感染禍において終息が見られるまで事業、予算共に縮小する。		
	2	昨年度収入ベースの2,000万減収により今年度も改善の見込みが立たないため収入支出共に減額予算とする。 特に第4四半期(1月～3月まで)の介護給付等減収が大きい。		
事業	原則	にじと風利用者、職員のみで全行程実施。 移動中にも利用者職員以外の接触は不可。 飲食は場所、食物全てにじと風のみで実施。 宿泊を伴う行事は宿泊場所は外部の関係者とは完全隔離されていること 移動途中移動先での排泄行為は短時間にて済ませる。	土休活動 葛西水族館等 カラオケ、日帰り旅行等 夏1泊旅行、スキー旅行	
	実施内容	上記5点の原則を守り可能な限り利用者には、行事を提供実施していく。 外出を伴う行事は原則行わない。 外部場所を借り上げての行事は行わない。 他団体主催行事は原則参加しないとする。 但し主催者の感染防止対策の状況を考慮する。事業実施場所を考慮する。 行事は全て利用者で職員のみで行う。家族ボランティアは参加しない。	施設見学、芋掘り、プール、海遊び、公園、遊園地外出 夏祭り、クリスマス会、観劇 運動会 夏祭り餅つき等	
	代替実施理由	土曜日に、にじと風にて各代替事業を少人数で実施。 最後のセーフティーネットの役割。利用者、保護者、職員の命、生活を守るため。 【陽性者が出た時、濃厚接触者が出たとき】 閉所基準期間4週間 2週間以上の閉所 学校通所先等への通所が長期間にわたり不可となる。(生活が守れない) にじと風の関係機関学校等場所が多岐に渡り(約40箇所あり)影響が大きい。 【濃厚接触者との接触同一空間が疑われる時】 閉所基準期間1週間 該当者の検査結果陰性のときは連絡により再開。 連絡受信時より判明までは全事業所閉所。 にじと風該当者は連絡受信日 起算1週間利用自粛。 未払い者の納入依頼し増収を図る。 利用料についても同様の措置をとる。利用料未払い合計200万以上 複数あり。		
収入について	1会費			
	3受け取り補助金	地域療育等支援事業	感染拡大防止の為訪問、外来件数大幅減	令和2年2月より実施できず
	4事業収益	利用者の指標該当判定による非該当者の増加により事業所区分が2となり基本単価が減額 処遇改善加算不受給の為 にじと風 コロナ禍による利用者減少 さくらいろの風 コロナ禍による利用者減少 あかね色の風 コロナ禍による利用者減少 花浅葱 コロナ禍による利用者減少 居宅事業 コロナ禍による利用者減少 地域生活支援 コロナ禍による利用者減少 (日中、移動支援) 相談支援事業 一般相談の急激な増加【収入委託費は0円、計画相談介護給付費減少】	感染拡大防止のため複数事業所利用者は1ヶ所のみと勤務若しくは利用自粛依頼 職員出勤自粛による利用控えを利用者に依頼 職員出勤自粛による利用控えを利用者に依頼 外出先安全確保できないため事業中止 外出先安全確保できないため事業中止 感染拡大防止のため複数事業所利用者は1ヶ所のみと勤務若しくは利用自粛依頼 感染拡大防止の為利用自粛依頼	
				予算との差異 減額 60万 減収 2,000万 内訳 減収 300万 減収 500万 150万 200万 150万 600万 400万
支出について	1事業費人件費	人員削減及び賃金カット	常勤2名退職、非常勤2名退職 増員常勤1名非常勤3名 管理者50パーセントカット無期限、他職員は3ヶ月15パーセントカット 4月定期昇給なし、冬季夏季一時金なし	事業費減額 1,952万 内訳 減額 1,000万
		福利厚生費	減額しない	
	2 事業費			
		行事費	コロナ禍による行事減少	210万
		相談事業	コロナ禍による訪問数等減少	60万
		教材費	コロナ禍による行事減少	50万
		給食材料費	コロナ禍による食数増加だが工夫して材料費は抑える、学校給食の役割の1部分は果たす。個別弁当持参は行わない	20万
		送迎費	コロナ禍による件数増加だが工夫して経費は抑える(有償送迎ボランティア休止等)	250万
		車両費、水光熱費	これらについては現状のまま	
		賃借料、保守契約費		
		事業保険料		▽30万
		交通費	コロナ禍による研修減少	20万
		通信運搬費	コロナ禍により通信費運搬費件数は増加しているがさらに工夫する	30万
		消耗品	コロナ禍により衛生品購入費件数は増加しているがさらに工夫する	70万
		研修費	コロナ禍による研修減少(主催者中止が多い)	80万
		修繕費	コロナ禍により事業所内で過労時間が多く件数は増加しているがさらに職員がこの機会に支援の質を上げ工夫する。	2万
		備品費	出来るだけ修理して使う	2万
		会費	外部団体機関との連携のための経費であるが再考する	5万
		雑費、助成金	変更しない	50万
		予備費	変更する	5万
	3 管理費			
		人件費	管理者手当てを50パーセントカットする(対象1名)	18万
		福利厚生費	増額する 職員健康診断、運転者講習会救急究明研修費	▽10万
		長期借入れ返済金	減額する	120万